



鐵道記念碑再建築案

島田 忠夫

本紙を藉りて、予は幾々例の平停車場前にありし鐵道記念碑の再建築を唱へて來たのであるが、この程實地に出れば、ひとり予等の欣びに該碑の所存する箇所を許りてなく、地下の家額揃突き止め、又平町長伏見氏宅者安藤侯や撰文の野口北や平驛長、外に伊坂貞正氏殿の欣びも大きいに違ひな青沼太郎氏の賛同を得て、ごうか平町の諸賢見も近々再建築の運動に取り掛ける御賛同賜はらんとすことを切に願する。

(十二月七日記)

小濱牧泉

民謡 戦ふ人に

先づ碑を建てる地所であるが、最早平停車場前のあの交通上貴重な地面を利用するは當を得ない事故、舊城跡の物見ヶ岡稲荷境内あたりに建ててはといふのが、一般の要望である。尤も物見ヶ岡には鐵道省の用地があり、方法を講ずれば當然許されることと思ふ。

近代世相圖繪

蛙山人

ちのみの父は老いても髪染めて羨むに餘念なからむ
ははははの母亡きあとの後添ひは昔といたる左様
ははははの母亡きあとの後添ひは昔といたる左様
ははははの母亡きあとの後添ひは昔といたる左様

艶女長兵衛

東京 斯波南更 (魚崎瀧雲)

長兵衛の見込みでは岩附を尋ねれば必ず紙入れの中の手紙の端の藤様とある其本人が知れる、夫こそ師匠本人が知れる、夫こそ師匠本人が知れる、夫こそ師匠本人が知れる

行發日九月二十
刊休日翌日祭曜日

拈華微笑

賀川氏大講演會

より真誠な讀み物は無からう
あれだけの聴衆あるは氣強い
カレンジャーの手綱り、愈々台紙の堅さがハツキリして來た



御無沙汰をして済まな成つた「松」を見貴、斯んな方へ引ッ込んだりやア本當か「三」やで終つて、相變らず貧乏をアまだ彼方の噂を聞かへして居りますものですかと見ゆるな「松」噂してへ

此度平町田町七十五番地(元平町役場跡)に移轉致しました。従來の通り一般の診療に従事致します。右お知らせまで。

セダン揃ひで！
昭和タクシーへ
三四三番

吉田眼科病院
平町紺屋町

移轉御披露
椅子。テーブル。机。
本箱。其他各種。

長谷川椅子店
平町三丁目元郵便局向

胃腸科 専門
皮膚科 専門
婦人科 専門

女工招聘
一軍手編女工 貳名
山田乙壽

清水醫院
平町田町七十五番地
電話二三三八番

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器

季節料理
海老團子 金三十錢
かき團子 金二十五錢
鳥團子 金二十五錢
牛團子 金二十五錢
おでん辨當 金二十錢
合の子 金三十錢

耳鼻、咽喉科、専門
増田耳鼻喉科醫院
平町南町 (元真木鐵道士跡)
電話四八二番

冬も暖かく
裏毛メリヤス 三五錢
毛メリヤス 二〇〇錢
婦人みやこ 六八錢
婦人シャツ 九五錢
モリタヤ洋品店
買上店平町三丁目電話三五三

ウエル萬年筆
ウエル金ペンには弾力形状共に申分なく殊に尖端のイリジウムは其の硬度最高にして永久の御使用に耐へます。
東京府商工獎勵館試験部證明
ウエル萬年筆 代理店
魁文堂
平町字橋小路 電話三三三番

移轉お知らせ
此度平町田町七十五番地(元平町役場跡)に移轉致しました。従來の通り一般の診療に従事致します。右お知らせまで。

ウエル萬年筆
ウエル金ペンには弾力形状共に申分なく殊に尖端のイリジウムは其の硬度最高にして永久の御使用に耐へます。
東京府商工獎勵館試験部證明
ウエル萬年筆 代理店
魁文堂
平町字橋小路 電話三三三番

ウエル萬年筆
ウエル金ペンには弾力形状共に申分なく殊に尖端のイリジウムは其の硬度最高にして永久の御使用に耐へます。
東京府商工獎勵館試験部證明
ウエル萬年筆 代理店
魁文堂
平町字橋小路 電話三三三番

ウエル萬年筆
ウエル金ペンには弾力形状共に申分なく殊に尖端のイリジウムは其の硬度最高にして永久の御使用に耐へます。
東京府商工獎勵館試験部證明
ウエル萬年筆 代理店
魁文堂
平町字橋小路 電話三三三番

ウエル萬年筆
ウエル金ペンには弾力形状共に申分なく殊に尖端のイリジウムは其の硬度最高にして永久の御使用に耐へます。
東京府商工獎勵館試験部證明
ウエル萬年筆 代理店
魁文堂
平町字橋小路 電話三三三番

ウエル萬年筆
ウエル金ペンには弾力形状共に申分なく殊に尖端のイリジウムは其の硬度最高にして永久の御使用に耐へます。
東京府商工獎勵館試験部證明
ウエル萬年筆 代理店
魁文堂
平町字橋小路 電話三三三番

ウエル萬年筆
ウエル金ペンには弾力形状共に申分なく殊に尖端のイリジウムは其の硬度最高にして永久の御使用に耐へます。
東京府商工獎勵館試験部證明
ウエル萬年筆 代理店
魁文堂
平町字橋小路 電話三三三番

